

山口大学大学院人間社会科学研究科

設置の趣旨等を記載した書類（資料）

資料 01	人文科学専攻の履修・人材養成モデル①	．．．．．	2
資料 02	人文科学専攻の履修・人材養成モデル②	．．．．．	3
資料 03	臨床心理学専攻の履修・人材養成モデル①	．．．．．	4
資料 04	臨床心理学専攻の履修・人材養成モデル②	．．．．．	5
資料 05	経済学・経営学専攻の履修・人材養成モデル①	．．．．．	6
資料 06	経済学・経営学専攻の履修・人材養成モデル②	．．．．．	7
資料 07	共創科学専攻の履修・人材養成モデル①	．．．．．	8
資料 08	共創科学専攻の履修・人材養成モデル②	．．．．．	9
資料 09	各専攻の DP とカリキュラムの関係	．．．．．	10
資料 10	人間社会科学研究科修了までのスケジュール表	．．．．．	12
資料 11	公認心理師実習施設受入承諾書	．．．．．	13

【資料01】人文科学専攻の履修・人材養成モデル①

養成する人材	人文科学の研究力をもとに他者と協働して諸課題を分析し、社会的課題の解決や地域文化の向上、社会的ニーズに対し提言やサービス提供を行うことを担う人材
身に付ける能力	・世界諸地域の人間文化の固有性と普遍性の探求を深め、人文科学における諸課題を発見する能力 ・人文諸科学について学問的分析方法を修得し、諸課題を解明し、独自の理論を構築し、あるいは仮説を検証する能力 ・自らの研究成果について、口頭や文章によつて的確に表現する技術を修得し、世界に発信する能力
活躍する分野	・人々の意識やニーズの調査またそれに応じた商品・サービスの提供を行う企業の社員 ・市役所、県庁等で文化財や文化振興に携わる公務員 ・博物館等の専門職員 学芸員

科目区分	1年次		2年次	
	前期	後期	前期	後期
修士論文	主指導教員決定	主・副指導教員による指導・論文執筆準備	学位論文執筆・審査	
専門科目	演習科目		歴史研究演習	歴史研究演習
	演習科目	日本歴史論演習 (近世の政治)	日本歴史論演習 (近世の社会)	
	他コース科目	日本文学論(近世)	日本思想論(近世)	
	自コース科目		先史考古論 (遺物・遺構)	
	自コース科目	西洋歴史論(近世・近代)		
	自コース科目	西洋歴史論(古代・中世)		
	自コース科目	日本歴史論(近世)	日本歴史論(近代史)	
	自コース科目	日本歴史論(中世)	日本歴史論(古代)	
専攻共通科目	人間科学総論			
研究科共通科目	研究者行動規範特論	選択必修科目		
研究科共通科目	知的財産特論			

修士論文題目例	近世萩藩における藩医のあり方について
研究内容	萩藩における藩医の実態について、萩藩医の実態像の提示に始まり、藩医の具体的な仕事の分析、藩医の家の相続という点への着目、医を家業とする藩医と他の藩士との違いの検討を通し、藩医の存在形態や相続状態を解明する。
志望理由・経緯	学部で歴史学を学び、知識をさらに深めたいという動機をもとに、より厳密な史料批判と多角的な分析に基づいて緻密な議論を構成し、それを論理的に文章化できる能力を身に付けたいと考え本専攻を志望。

【資料02】人文科学専攻の履修・人材養成モデル②

養成する人材	人文科学の研究力をもとに他者と協働して諸課題を分析し、社会的課題の解決や地域文化の向上、社会的ニーズに対し提言やサービス提供を行うことを担う人材
身に付ける能力	・教育職員免許状(専修免許状・国語)の取得 ・言語の運用能力を高め、他者に適切に指導できる能力 ・言語の創造的活用を通じて自らの人生を豊かにし、他者との関係を発展させて、社会における「生活の質」を高めることのできる能力。
活躍する分野	・中学校、高等学校等国語の教育職員 ・出版、印刷など書物に関連する企業 ・塾講師等の学習支援業

科目区分	1年次		2年次	
	前期	後期	前期	後期
修士論文	主指導教員決定	主・副指導教員による指導・論文執筆準備	学位論文執筆・審査	
専門科目	演習科目		日本・中国言語文学研究演習	日本・中国言語文学研究演習
	演習科目	日本文学論演習(近世文学講読)	日本文学論演習(近世文学研究)	
	他コース科目	日本歴史論(近世)	日本思想論(近世)	
	自コース科目	比較文学・文化論		
	自コース科目	中国語論(中国の諸言語)		
	自コース科目	日本文学論(近世)	日本文学論(近現代)	
	自コース科目	日本文学論(中古)	日本文学論(近代)	
	自コース科目	日本語論(古代語)		
専攻共通科目	人間科学総論			
研究科共通科目	研究者行動規範特論	選択必修科目		
研究科共通科目	知的財産特論			

修士論文題目例	横光利一大正期小説の一考察
研究内容	大正から昭和にかけて活躍した横光利一(1898-1923)の初期作品三編を対象として、環境と人間のかかわりをめぐる横光の思想を分析し、横光の初期作品三編に共通することは、「人間の意識は環境に支配されている」という問題意識であるとし、小説は横光にとってそうした思想の「思考実験」とであると解明する。
志望理由・経緯	国語の教員を目指し、学部において教員免許を取得予定。教育実習を経験し、さらに専門的な知識を深めたいという思いで質の高い授業を行える教員になりたいと考え、専修免許の取得を目指し、本専攻を志望。

【資料03】臨床心理学専攻の履修・人材養成モデル①

養成する人材	地域社会が抱える様々な課題に対して、臨床心理学を主眼として、複眼的視点から問題解決を図ることができる人材
身に付ける能力	<ul style="list-style-type: none"> 臨床心理学の視点から、子どもの心身の健康に関する課題を主体的に探求する能力 山口県が抱える次世代育成に関する問題点について、質的・量的・事例的データを収集・分析し、新たな知見や問題解決を進める能力 医療・教育・福祉の各領域と協働できる能力
活躍する分野	<ul style="list-style-type: none"> 公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会認定の「臨床心理士」及び国家資格の「公認心理師」として様々な臨床領域での活動が可能になる。 修士論文の成果を発展させて、児童期から青年期を対象とする研究のために、臨床系の大学院博士後期課程(東アジア研究科を含む)の進学が可能になる。

科目区分	1年次		2年次	
	前期	後期	前期	後期
修士論文	指導教員決定	指導教員による指導		学位論文執筆・審査
専門科目	課題研究科目	課題研究		
	専攻科目	臨床心理実習Ⅰ(心理実践実習A)		
	専攻科目	心理実践実習B		
	専攻科目	臨床心理基礎実習		臨床心理実習Ⅱ
	専攻科目	障害児(者)心理学特論(福祉分野に関する理論と支援の展開)		
	専攻科目	健康心理学特論(心の健康教育に関する理論と実践)	精神医学特論(保健医療分野に関する理論と支援の展開)	産業カウンセリング特論(産業・労働分野に関する理論と支援の展開)
	専攻科目	教育心理学特論(教育分野に関する理論と実践)	社会心理学特論(家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践)	犯罪心理学特論(司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開)
	専攻科目		力動的心理療法特論	
	専攻科目		臨床心理地域援助特論	
	専攻科目	臨床心理面接特論Ⅰ(心理支援に関する理論と実践)		臨床心理面接特論Ⅱ
	専攻科目	臨床心理査定演習Ⅰ(心理的アセスメントに関する理論と実践)	臨床心理査定演習Ⅱ	
	専攻科目	臨床心理学特論Ⅰ	臨床心理学特論Ⅱ	
	専攻科目	心理統計法特論演習	学習・認知心理学特論	
専攻科目	心理学研究法特論	発達心理学特論		
研究科共通科目	研究者行動規範特論	選択必修科目		
研究科共通科目	知的財産特論			

修士論文題目例	児童期から思春期のwell-beingを育む心理的環境に関する臨床心理学的研究
研究内容	児童期から思春期の子どもたちのwell-beingを育むためのより良い心理的環境について探索し、開発する。特に、臨床心理学と多領域協働の視点から、さまざまなストレスから生じる心身の問題の解決方法だけでなく、予防的、あるいはレジリエンスを高める家庭・学校・地域のネットワークのあり方について新たな方法論を研究する。
志望理由・経緯	卒論では、児童期のwell-beingと家族関係について検討した。今後は地域社会全体を視野に入れた心理的環境との関連性について、臨床心理学を基盤としながらも、DXの視点を駆使して研究する目的から志望した。

【資料04】臨床心理学専攻の履修・人材養成モデル②

養成する人材	山口県の将来を担う青年達が抱える心理的問題を臨床心理学の視点から問題解決を進めることができる人材
身に付ける能力	・臨床心理学の視点を通して、青年期が抱える特有な心理状態を探索できる能力 ・心理学的分析力を通して、社会全体が抱える諸問題を主体的に解決しようとする能力 ・将来的に山口県において若者の定着や地域活性化を担う職業人となる能力
活躍する分野	・公務員など臨床心理学的分析力、問題解決力を活かして、児童相談所、精神保健福祉センターなどの心理職での活躍が可能になる ・心理統計法などを活かしたデータサイエンス系の大学院後期課程の進学が可能になる

科目区分	1年次		2年次	
	前期	後期	前期	後期
修士論文	指導教員決定	指導教員による指導		学位論文執筆・審査
専門科目	課題研究科目	課題研究		
	他専攻科目	社会人類学特論	住環境学特論	
	専攻科目	臨床心理基礎実習		
	専攻科目	障害児(者)心理学特論 (福祉分野に関する理論と支援の展開)		家族心理学特論(家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践)
	専攻科目	臨床心理面接特論Ⅰ (心理支援に関する理論と実践)		
	専攻科目	臨床心理査定演習Ⅰ (心理的アセスメントに関する理論と実践)		
	専攻科目	臨床心理学特論Ⅰ		
	専攻科目	心理統計法特論演習	学習・認知心理学特論	
	専攻科目	心理学研究法特論	発達心理学特論	
研究科共通科目	研究者行動規範特論	選択必修科目		
研究科共通科目	知的財産特論			

修士論文題目例	青年期に見られる「引きこもり」傾向とSNS依存の関連性
研究内容	山口県内で活動する「引きこもり」の支援団体の協力を得ながら、当事者へのインタビュー調査を通して、「引きこもり」のきっかけから現在までの心理的变化とそこにSNSがどのように影響したかを質的分析を通して研究する。
志望理由・経緯	友人が「引きこもり」となり、高校に来ることができずにいたが、何も助けることができなかった経験をした。大学で「引きこもり」傾向について学び、その背景としてSNS依存の問題が大きいことが卒論研究で明らかになったため、大学院でさらに研究を進めるために志望した。

【資料05】 経済学・経営学専攻の履修・人材養成モデル①

養成する人材	地域社会や国際社会が抱える課題について、経済、公共管理、法律、観光等の社会科学の分野から深く分析し、問題解決に資する人材
身に付ける能力	・経済、公共管理、法律、観光等のそれぞれの専門分野において、自ら課題発見・解決を進めていく能力 ・高い倫理観や世界の多様な文化・歴史をふまえて相手の考えや意見を理解し、自分自身の考えや意見を論理的に説明する能力
活躍する分野	・地域振興政策等の地域特性に応じた企画運営を担う自治体職員 ・観光資源の開発、利用に取り組む部門 ・公共管理の知識を生かした開発途上国の公務員

科目区分	1年次		2年次		
	前期	後期	前期	後期	
修士論文	指導教員による指導			学位論文執筆・予備審査・本審査	
専門科目	演習科目	演習ⅠA(経済社会)	演習ⅠB(経済社会)	演習ⅡA(経済社会)	演習ⅡB(経済社会)
	他コース科目		国際経営研究		
	自コース科目	日本経済史研究	時間論研究	財産法研究	
	自コース科目	アジア環境政策研究	刑事法研究		
	推奨科目	金融経済理論研究	観光経済研究		
	推奨科目	社会政策・労働経済研究	地域経済論研究		
専攻基盤科目	外国文献研究				
研究科共通科目	研究者行動規範特論	データサイエンス特論			
研究科共通科目	知的財産特論				

修士論文題目例	地方行政のアウトソーシングの効果的運用方法について：ファミリーサポート・センター事業を事例として
研究内容	地方自治体では、近年、職員数が減少傾向にあり、サービスの質の改善という目的のために自治体アウトソーシングの積極的な導入が求められている。本研究では、市町村が実施するファミリーサポート・センター事業を事例として、戦略マップというフレームワークの活用に関心を当て、その活用が自治体アウトソーシングの効果的運用に及ぼす影響を検討する。
志望理由・経緯	地方自治体の抱える現代の課題に対して、経済学からのアプローチを学んで、解決策を考えたいと思い本研究科を志望した。経済学の専門科目を本専攻で修得して、将来的には地域特性に応じた企画・立案できるようになりたいと思っている。

【資料06】 経済学・経営学専攻の履修・人材養成モデル②

養成する人材	企業活動に伴って生起する経営上の諸問題を認識し、それらを解決するための具体的な方法を考え出すことができる高度専門職業人等
身に付ける能力	・中小企業、医療・福祉施設等のそれぞれの専門分野において、自ら課題発見・解決を進めていく能力 ・高い倫理観や世界の多様な文化・歴史をふまえて相手の考えや意見を理解し、自分自身の考えや意見を論理的に説明する能力
活躍する分野	・地域における中小規模の企業経営に関連する業務 ・医療・福祉施設で働く職員・マネジメント層 ・税理士等(地域企業の側面支援)

科目区分		1年次		2年次		
		前期	後期	前期	後期	
修士論文		指導教員による指導				学位論文執筆・予備審査・本審査
専門科目	演習科目	演習ⅠA(中山間地)	演習ⅠB(中山間地)	演習ⅡA(中山間地)	演習ⅡB(中山間地)	
	他コース科目		現代会計論研究	医療経済研究		
	自コース科目	経営数理計画研究	経営数理システム研究	金融経済理論研究		
	自コース科目	応用ゲーム理論 (組織の経済学)研究				
	自コース科目	社会政策・労働経済研究				
	推奨科目	リスクマネジメント研究	経営戦略研究			
	推奨科目	流通システム研究				
専攻基盤科目						
研究科共通科目		研究者行動規範特論	データサイエンス特論			
研究科共通科目		知的財産特論				

修士論文題目例	企業規模と業種が企業業績に与える影響について
研究内容	大企業の業績は、安定している。それに対して、中小規模の企業の業績には厳しいものがある。それは、本当だろうか。また、企業の業績は、企業規模だけではなく、その企業の属している業種によっても、影響を受ける場合がある。そこで、本研究では、企業規模と業種が企業業績に与える影響を分析し、企業規模と業種の果たす役割について、検討する。
志望理由・経緯	企業の抱える課題に、経営学が持つ様々な視点や手法を駆使して研究したい。経営戦略に関する課題に取り組んだが、実証研究的なアプローチを用いるまでには至らなかった。研究方法論に立脚した形での調査を通じて、企業経営の諸課題に取り組みたい。

【資料07】 共創科学専攻の履修・人材養成モデル①

養成する人材	現代社会や地域社会が抱える課題を深く分析し、現代のアートやデザイン、アーカイブを切り口としてそれらの問題の解決に資する人材
身に付ける能力	・客観的な現状分析をふまつつも、自分なりの物の見方や考え方から課題発見・解決を進めていく能力(アート思考) ・社会の中でアートが果たしている役割を捉え、社会問題の解決のためにアートの持つ可能性を発展させていく能力
活躍する分野	・地域おこしを目的とした芸術祭の企画運営を担う自治体職員 ・地域密着型イラストレーター ・文化芸術資源を生かした事業を展開する企業職員

科目区分	1年次		2年次		
	前期	後期	前期	後期	
修士論文	主指導教員決定	主・副指導教員による指導		学位論文執筆・審査	
専門科目	課題解決科目	課題解決特論	課題解決能力特別演習	課題解決演習前期	課題解決演習後期
	他専攻科目	芸術論(美学)	芸術論(美術史)		
	他プログラム科目	地域コミュニティ政策特論			
	他プログラム科目	データ情報表現法特論			
	自プログラム科目	英語圏文化研究			
	自プログラム科目	表象文化特論	工芸文化特論		
	自プログラム科目	実践的現代アート特論	彫刻文化特論		
専攻共通科目	人間文化・社会創造概説				
研究科共通科目	研究者行動規範特論	選択必修科目			
研究科共通科目	知的財産特論				

修士論文題目例	UBEビエンナーレに関する今後の展開及び課題について
研究内容	UBEビエンナーレにおける美術史的な経緯や現代アートの動向を調査研究するとともに今後必要とされる彫刻のマーケット制作や類似する作品を制作する。Arts- Based Researchとして制作の過程や背景について著述することと制作を通してテーマについて深く洞察し、修士論文としての文章と作品制作・展示を行う。
志望理由・経緯	学部でも美術(現代アート)に関して学んできたストレートマスター。自分自身の創作に関する技能を発展させたいという動機とともに、現代アートを通じた地域創成などの芸術の社会的応用に関心があり、自らもそれに関する職業に就きたいと考え本専攻を志望した。

【資料08】 共創科学専攻の履修・人材養成モデル②

養成する人材	日本の伝統的な農業文化や技術を踏まえつつ、スマート技術などを駆使した新しい時代の農業を考え、発展させようとする人材
身に付ける能力	<ul style="list-style-type: none"> ・農業課題の解決策を伝統産業の在り方、社会的背景、農業に対するイメージや心理、スマート技術開発など複眼的な視点でとらえることができる能力 ・便利さや使う人のことを考えた使いやすさを最優先にシステム全体を設計する発想力 ・マーケティングや販路開拓など、農業を経営的側面から分析する能力
活躍する分野	<ul style="list-style-type: none"> ・農業の担い手不足対策に取り組むJA部署 ・次世代スマート農機開発や農業のDXに取り組む企業部門 ・DX時代の農業政策を立案する自治体職員 ・農業法人の経営や六次産業化を支援するコンサルティング職

科目区分	1年次		2年次		
	前期	後期	前期	後期	
修士論文	主指導教員決定	主・副指導教員による指導		学位論文執筆・審査	
専門科目	課題解決科目	課題解決特論	課題解決能力特別演習	課題解決演習前期	課題解決演習後期
	他研究科科目	農学系特論			
	他専攻科目	経営数理計画研究	経済統計研究		
	他プログラム科目	インタラクションデザイン特論			
	自プログラム科目		現代法特論		
	自プログラム科目	地域コミュニティ政策特論	科学技術社会論特論		
	自プログラム科目	データ解析情報学特論	データベース特論		
専攻共通科目	人間文化・社会創造概説				
研究科共通科目	研究者行動規範特論	選択必修科目			
研究科共通科目	知的財産特論				

修士論文題目例	スマートデバイスを用いた新規就農者支援と都市型農業における農産物の多収量・高品質化の研究
研究内容	就農者平均年齢が最も高い山口県において、新規就農者を増加させる新たな方法をデザイン思考に基づき開発する。農業課題の解決に、日本独自の農業文化、現代社会における農業の位置づけ、若者のトレンドなどを考慮し、またスマート農機の導入など技術的な側面からもアプローチする。特に、農業の高品質化と効率化を付加価値とした新たな手法を研究する。
志望理由・経緯	農業の抱える課題に農学がカバーする領域だけでなく、様々な視点や手法を駆使して研究したい。卒論で、就農者減少に関する課題に取り組んだが、農業法人や行政目線でのアプローチが主体となってしまったため、一就職先としてや若者目線でもとらえた農業研究として発展させたい。

【資料09】 各専攻のDPとカリキュラムの関係

人文科学専攻のDPとカリキュラムとの関係

【DP1】高度な専門性と学識

人文科学に関する高度な知識・技能及び分析方法を習得し、それらをさらに深化・発展させることを通して、現代社会の諸課題の解決に向けて的確に応用することができる。

【DP2】豊かな教養

人間文化の固有性と普遍性の探究を深め、具体的問題と理論的問題、ローカルな課題とグローバルな課題を往還しつつ、複眼的・多角的な思考を通して問題の核心に迫り、課題解決に向けて前進していくことができる。

【DP3】自律・協働する力と物事をかたちにする力

国際機関や民間事業者、地域住民、異分野の研究者など多様な社会的セクターとの協働を通じて、新たな知見や問題解決を導くことができる。



臨床心理学専攻のDPとカリキュラムとの関係

【DP1】高度な専門性と学識

心理学および臨床心理学に関する知識・技能・分析力などを習得するとともに、心理学および臨床心理学における研究能力と論理的・批判的思考をもとに問題を解決することができる。

【DP2】豊かな教養

地域社会が抱える諸問題や社会的ニーズ、地域社会や人々の健康、およびwell-beingの向上のために、複眼的・俯瞰的に物事をとらえて柔軟に思考を行うことができる。

【DP3】自律・協働する力と物事をかたちにする力

専門的職業人として将来の目標を設定し、その実現のため主体的に行動企画を立案し、臨床的実践力を省察しつつ、地域社会で協働する資質をかたちにすることができる。



経済学・経営学専攻のDPとカリキュラムとの関係

【DP1】高度な専門性と学識

経済、公共管理、経営、法律、観光等の領域における専門的知識を習得し、それぞれの専門分野において、情報や知識を論理的・批判的に分析することができる。また、それらを的確に表現し、独創的・創造的な研究論文を作成することができる。さらに、専門的知識を活用・応用して、関連する学際的分野の諸課題を発見し、解決に結び付けることができる。

【DP2】豊かな教養

経済、公共管理、経営、法律、観光等のそれぞれの専門分野において、情報や知識を複眼的・俯瞰的にとらえて柔軟に思考を行うことができる。

【DP3】自律・協働する力と物事をかたちにする力

経済、公共管理、経営、法律、観光等のそれぞれの専門分野における諸問題に対して、主体的・自律的に研究に取り組み、高い倫理観や世界の多様な文化・歴史をふまえて相手の考えや意見を理解し、自分自身の考えや意見を論理的に説明することができる。また、それぞれの分野における専門的知識および必要な日本語や外国語の能力を習得し、研究論文を作成することができる。



共創科学専攻のDPとカリキュラムとの関係

【DP1】高度な専門性と学識

新たな価値の創出や社会システムの提案、またはその実現を可能にする、高度な専門性と精深な学識をもって、物事を論理的・批判的に考えることができる。そのうえで学生が主体的に自らの研究を深化・発展させながら、社会課題の解決に結び付けることができる。

【DP2】豊かな教養

学問分野の枠に限定されない横断的・総合的な視点に必要な豊かな教養を身に付け、人や社会の現状や動向を柔軟な思考で複眼的・俯瞰的にとらえることができる。また、必要な知識・視点・方法を適切に選び取り、関連づけ統合し、課題の背景や構造を分析することができる。

【DP3】自律・協働する力と物事をかたちにする力

多種多様な文化的背景や専門分野の人たちと協働し、必要に応じてチームを構成ながら、情報収集したり協力関係を形成したりするコミュニケーション能力を使って、地域社会や国際社会で自律心と倫理観をもって物事をかたちにすることができる。



【資料10】人間社会科学研究科修了までのスケジュール表

年次	時期	事 項
1年次	4月	入学式、大学院生オリエンテーション 履修登録期間、前期授業開始 研究指導計画書の作成(1年次) 指導教員届の提出【人】
	6月	指導教員届の提出【心、共】
	8月	前期授業終了
	10月	履修登録期間、後期授業開始 ※入学式、大学院生オリエンテーション
	2月	後期授業終了
2年次	4月	履修登録期間、前期授業開始 研究指導計画書の作成(2年次)【人】【臨】【共】 ※修士論文題目届【経】
	5月	※修士論文草稿提出【経】
	6月	修士論文題目届【人】【共】【心】 ※修士論文予備審査【経】 ※修士論文提出【経】
	7月	※修士論文最終試験(口頭試問)【経】
	8月	前期授業終了 修士論文中間報告会【心】
	9月	修士論文準備報告会(中間発表)【共】 ※修士論文審査の合否判定【経】 ※修了式
	10月	履修登録期間、後期授業開始 修士論文題目届【経】
	11月	修士論文草稿提出【経】
	12月	修士論文予備審査【経】
	1月	学位論文審査委員の決定 修士論文提出
	2月	後期授業終了 修士論文最終試験(口頭試問)【人】【経】【心】 修士論文最終試験(口述試験)【共】 修士論文報告会【共】 修士学位論文審査報告書の提出
	3月	修士論文審査の合否判定 修了式

「※」は10月入学の場合のスケジュール

【資料 11】公認心理師実習施設受入承諾書

※承諾書の添付は省略。

公認心理師実習受け入れ施設一覧

No.	受入施設	所在地	授業科目	実習期間	受入可能人数
1	山口大学医学部附属病院	山口県宇部市南小串一丁目1番1号	心理実践実習 A	4月から3月	6人
2	山口市保健センター	山口県山口市糸米二丁目6番6号	心理実践実習 A	4月から3月	6人
3	山口県社会福祉事業団 児童心理治療施設 山口県みほり学園	山口県山口市大内御堀五丁目2番8号	心理実践実習 A	4月から3月	6人
4	山口大学教育学部附属山口小学校	山口県山口市白石三丁目1番1号	心理実践実習 A	4月から3月	6人
5	山口大学教育学部附属山口中学校	山口県山口市白石一丁目9番1号	心理実践実習 A	4月から3月	6人
6	山口大学教育学部附属特別支援学校	山口県山口市吉田3003	心理実践実習 A	4月から3月	6人